

NY マーケットレポート (2014 年 2 月 6 日)

昨夜の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米失業保険申請件数が予想より改善したものの、米貿易赤字が拡大したことを受けて、序盤のドルは主要通貨に対して軟調な動きとなりました。一方、ドラギ ECB 総裁が、理事会後の定例会見で、必要ならば景気でこ入れを図るとの姿勢を強調したことを好感して、ユーロが主要通貨に対して上昇となりました。また、欧米の株価が大幅な上昇となったことを受けて、投資家のリスク選好の動きが強まり、安全資産とされる円を売る動きが優勢となりました。そのため、ドル円・クロス円は大きく上昇し、円がすべての主要通貨に対して下落する動きとなりました。特に、円はユーロに対しては 2 円以上の下落となりました。

2014/2/6 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.49	101.67	101.33
EUR/JPY	137.27	137.58	137.05
GBP/JPY	165.57	165.94	165.24
AUD/JPY	90.93	91.26	90.39
EUR/USD	1.3524	1.3540	1.3515

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.57	101.34
EUR/JPY	137.39	136.90
GBP/JPY	165.58	165.06
AUD/JPY	91.00	90.63
EUR/USD	1.3534	1.3490

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14155.12	-25.26
ハンセン指数	21423.13	+153.75
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1907.89	+16.57
豪ASX200	5131.40	+61.09
インドSENSEX指数	20310.74	+49.71
シンガポールST指数	2988.27	+28.18

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6558.28	+100.39
仏CAC40	4188.10	+70.31
独DAX	9256.58	+140.26
ST欧州600	322.77	+4.73
西IBEX35指数	9964.60	+189.60
伊FTSE MIB指数	19504.24	+434.62
南ア 全株指数	44985.34	+508.16

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.13	102.18	101.25
EUR/JPY	138.79	138.82	136.75
GBP/JPY	166.74	166.83	165.07
AUD/JPY	91.48	91.64	90.63
NZD/JPY	84.28	84.48	83.20
EUR/USD	1.3591	1.3619	1.3483
AUD/USD	0.8958	0.8979	0.8948

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15628.53	+188.30
S&P500	1773.43	+21.79
NASDAQ	4057.12	+45.57
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	13713.40	+153.71
🇧🇷 ボルサ指数	40288.78	+407.91
🇲🇽 ボベスパ指数	47738.09	+1113.70

2/7 経済指標スケジュール

10:45	【中】1月HSBC非製造業PMI
14:00	【日】12月景気一致CI指数
14:00	【日】12月景気先行CI指数
15:00	【南ア】1月外貨準備高
16:00	【独】12月経常収支 / 12月貿易収支
16:45	【仏】12月経常収支 / 12月貿易収支
17:15	【スイス】12月実質小売売上高
17:30	【スウェーデン】1月財政収支
17:30	【スウェーデン】12月鉱工業生産
18:00	【ノルウェー】12月鉱工業生産
18:30	【英】12月鉱工業生産
18:30	【英】12月製造業生産高
18:30	【英】12月商品貿易収支
20:00	【独】12月鉱工業生産
22:30	【カナダ】1月失業率
22:30	【カナダ】1月雇用ネット変化率
22:30	【米】1月失業率
22:30	【米】1月非農業部門雇用者数
23:00	【メキシコ】1月消費者物価指数
00:00	【英】1月NIESR GDP予想
00:00	【米】12月消費者信用残高

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1257.20	+0.30
NY 原油	97.84	+0.46
CME コーン	443.00	-0.25
CBOT 大豆	1325.75	+9.50

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.32%	0.31%
3年債	0.66%	0.65%
5年債	1.52%	1.49%
7年債	2.17%	2.13%
10年債	2.70%	2.67%
30年債	3.67%	3.65%

2/7 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

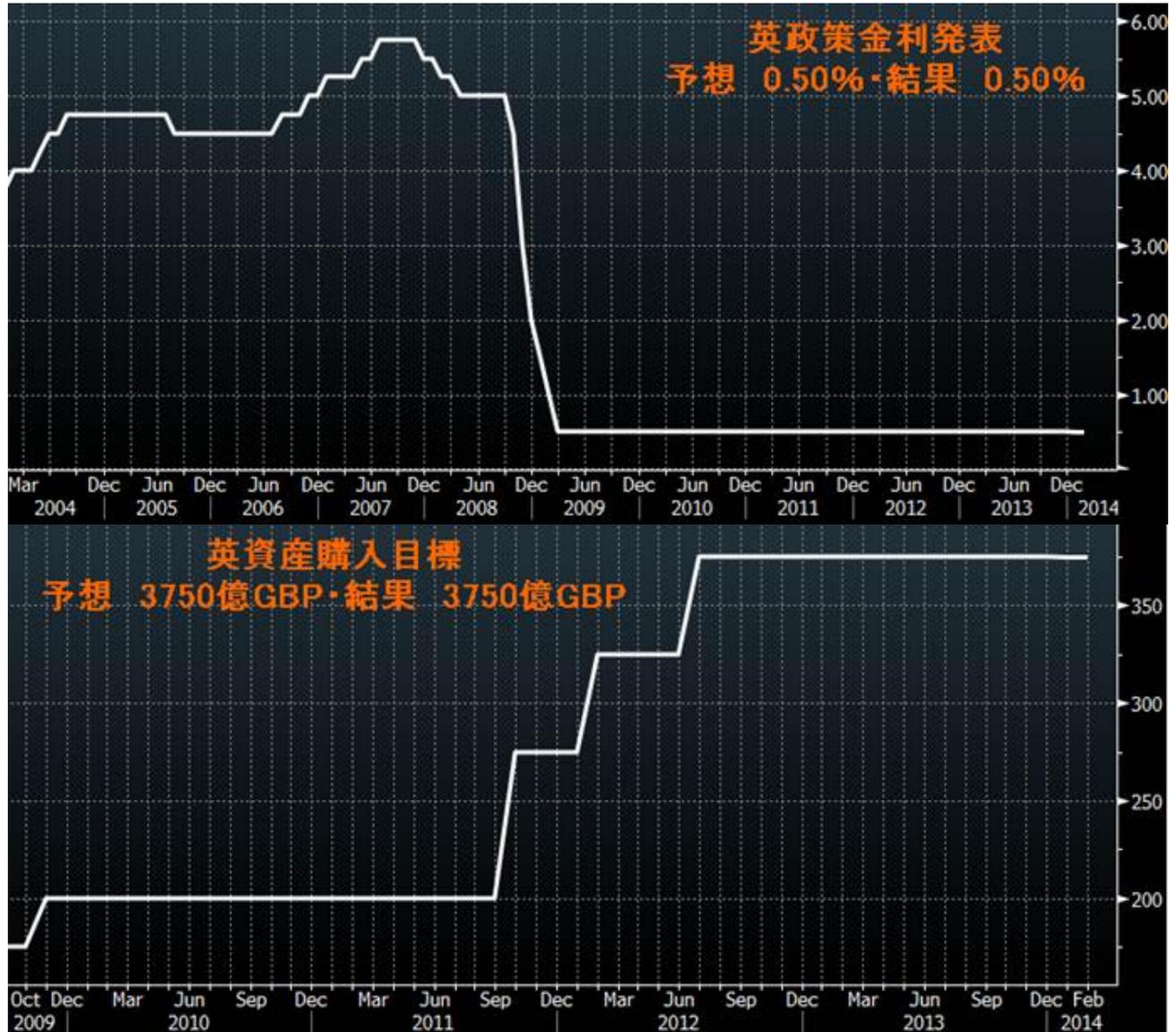
NY 市場レポート
欧州市場

21 : 00

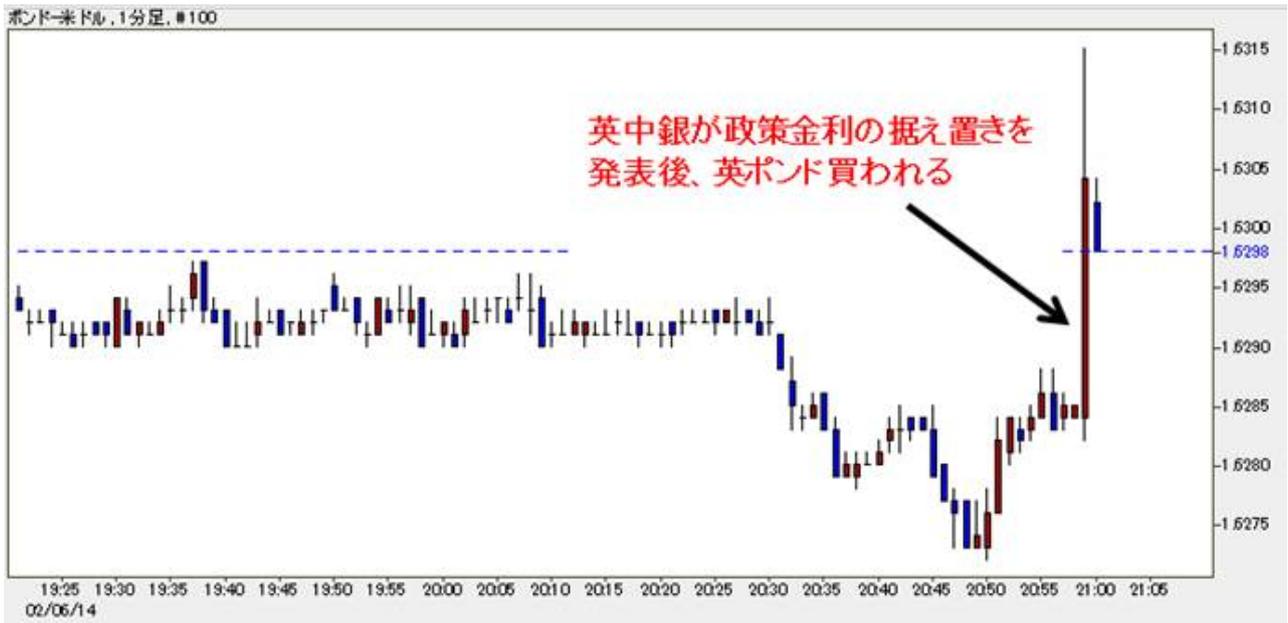
《 経済指標の結果 》

英政策金利発表 0.50% (予想 0.50%・前回 0.50%)

英資産購入目標 3750 億 GBP (予想 3750 億 GBP・前回 3750 億 GBP)



(出所:ブルームバーグ)



(出所: ネットダニアー)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米チャレンジャー人員削減数(前年比) 11.6%(前回 -5.9%)



(出所: ブルームバーグ)

指標結果データ

《チャレンジャー人員削減数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
合計	45,107	30,623	45,314	45,730	40,289	50,462		
増減	14,484	-14,691	-416	5,441	-10,173	12,761		
前年比	11.6	-5.9	-20.6	-4.2	19.1	56.5		

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
東部	9,797	10,178	16,681	24,280	6,986	7,741		
中西部	15,156	5,504	13,273	4,820	9,066	21,926		
西部	13,582	9,306	8,797	6,953	16,194	12,940		
南部	6,212	5,635	6,563	9,677	8,043	7,855		

21 : 30

《米企業決算》

米GM

第4四半期 調整後1株利益 0.67ドル (予想 0.87ドル)

21 : 45

《経済指標の結果》

欧州政策金利発表 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)





(出所: ネットダニアー)

ECB 後、EUR はやや乱高下となった。ユーロ圏の1月消費者物価指数が前年同月比+0.7%に留まったことから、インフレ率が4ヵ月連続で1%割れとなり、デフレ懸念が高まったとの見方から、一部では追加利下げに踏み切るかどうか注目されていた。しかし、金利据え置き発表を受けてEURは上昇となった。ただ、定例会見ではハト派的な発言が出るのではないかとその思惑から反落となった。

22:00

ドル/円 101.46 ユーロ/円 136.98 ユーロ/ドル 1.3501

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6515.32	+57.43	ダウ INDEX FUTURE	15439	+72
仏 CAC40	4166.80	+49.01	S&P500 FUTURE	1752.70	+8.70
独 DAX	9222.82	+106.50	NASDAQ FUTURE	3463.75	+18

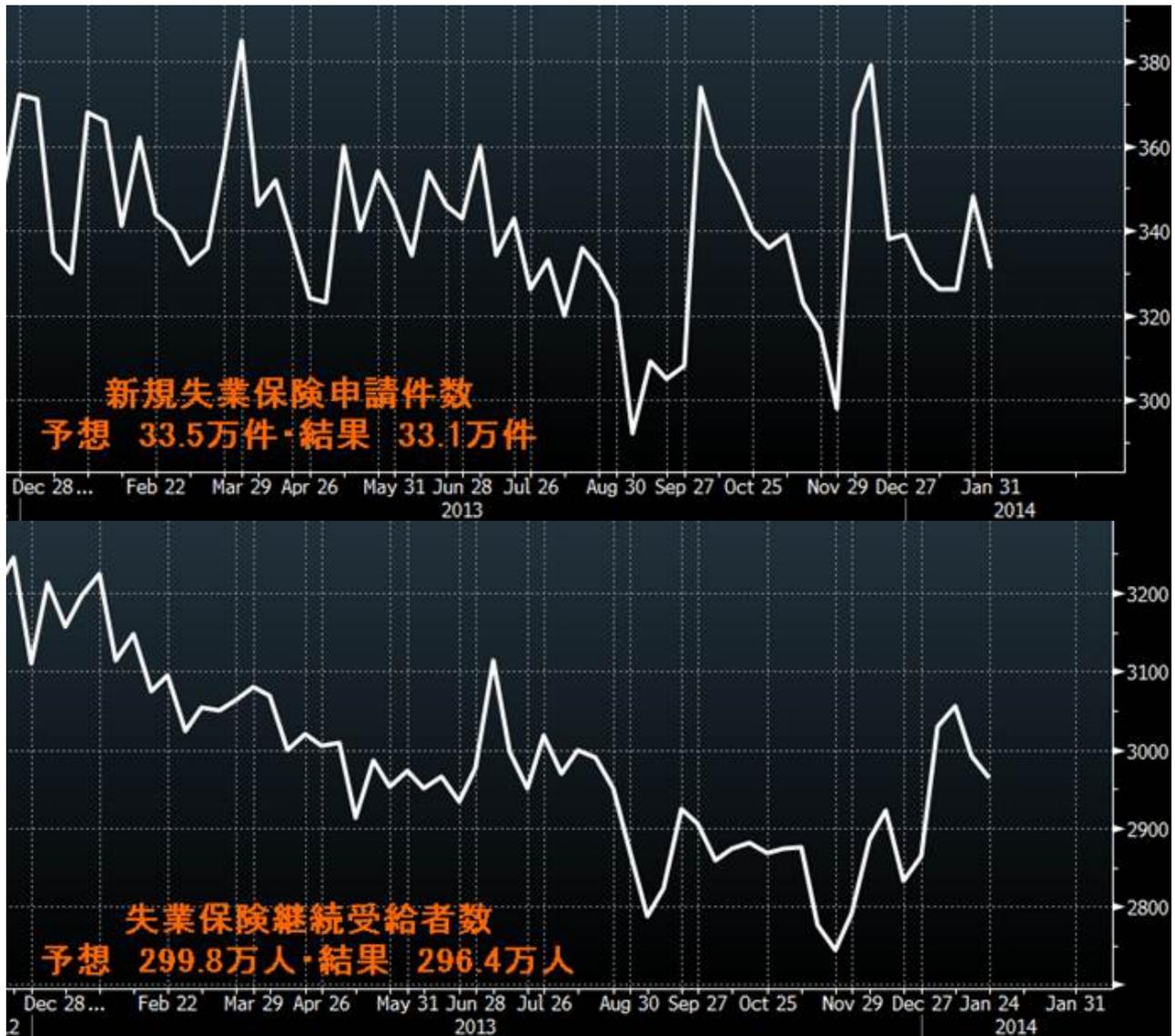
(出所: SBILM)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

新規失業保険申請件数 33.1 万件 (予想 33.5 万件・前回 35.1 万件) 前回発表の 34.8 万件から 35.1 万件に修正

失業保険継続受給者数 296.4 万人 (予想 299.8 万人・前回 294.9 万人) 前回発表の 299.1 万人から 294.9 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・前週比・4週移動平均・受給者数・受給者比

率

14/02/01	331,000	-20,000	334,000	*****	*****
14/01/25	351,000	+22,000	333,750	2,964,000	2.3%
14/01/18	329,000	+4,000	332,250	2,949,000	2.3%
14/01/11	325,000	-5,000	335,250	3,007,000	2.3%
14/01/04	330,000	-15,000	349,000	3,022,000	2.3%
13/12/28	345,000	+4,000	358,750	2,861,000	2.2%
13/12/21	341,000	-39,000	348,750	2,817,000	2.2%
13/12/14	379,000	+11,000	343,750	2,932,000	2.2%
13/12/07	369,000	+64,000	330,250	2,877,000	2.2%

受給者数は集計が1週間遅れる

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12月米貿易収支 -387億USD（予想 -360億USD・前回 -346億USD）前回発表の-343億USDから-346億USDに修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米貿易収支》

	12月	11月	10月	9月	8月	前年同月
入出超	-387.0	-345.5	-390.7	-427.1	-386.9	-383.1
輸出	1912.9	1948.1	1933.3	1895.0	1897.8	1886.9
輸入	2299.9	2293.5	2324.1	2322.2	2284.7	2269.9

(単位 億ドル)

22 : 30

《 経済指標の結果 》

12月カナダ国際商品貿易 -16.6億CAD (予想 -6.5億CAD・前回 -15.3億CAD) 前回発表の-9.4億CADから-15.3億CADに修正



(出所:ブルームバーグ)

22 : 35

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁～定例会見

- ・「長期にわたる低インフレにユーロ圏は直面」
- ・「政策金利は長期にわたり現行水準かそれ以下に」
- ・「必要なら断固たる措置をさらに取る決意」
- ・「高い度合いの金融緩和を維持する決意」

- ・「経済見通しに下向きのリスク」
- ・「新興市場の混乱がユーロ圏の回復に影響する可能性」
- ・「インフレ率は向こう数カ月、現在の水準付近に」
- ・「インフレリスクはおおむね均衡」

23 : 45

《 要人発言 》

ドラギ ECB 総裁～定例会見質疑応答

- ・「この日の討議内容は幅広かった」
- ・「ユーロ圏の経済と市場は抵抗力見せた－新興市場に絡み」
- ・「SMP に絡む不胎化措置の打ち切りは一つの手段」
- ・「SMP に絡む付帯過疎地の打ち切り、討議されなかった」

- ・「説明の付かない市場の引き締めは行動の理由」
- ・「インフレ見通しの悪化は行動を引き起こす理由」
- ・「デフレは見られない」
- ・「日本と同様の状況は見られない」

- ・「長期にわたる低インフレのリスクを無視できない」
- ・「景気回復は依然として弱く、まだら模様」
- ・「政策委員会はいかなる決定を下すにも待つことを決めた」
- ・「状況が複雑なので今月は行動することを控えた」

- ・「新興市場の弱さがどれほど幅広いかは不明」
- ・「ECB は行動する準備が整っている」

23 : 00

《 経済指標の結果 》

12 月メキシコ景気先行指数(前月比) 0.11 (前回 0.11) 前回発表の 0.06 から 0.11 に修正

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15506.44	+66.21
ナスダック	4031.49	+19.94

(出所: SBILM)

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月カナダ Ivey 購買部協会指数 56.8 (予想 51.0・前回 46.3)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ネットダニアー)

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、主要な欧州株式市場が堅調に推移していることを好感した投資家が運用リスクを取る動きを強め、株式を買う動きが広がった。また、米失業保険申請件数が市場予想を下回ったため、米労働市場が改善するとの思惑が出ていることも株価上昇を後押しした。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きが続き、一時前日比で154ドル高まで上昇している。

《 経済指標のポイント 》

(1) 英中銀は、MPC（金融政策委員会）で政策金利であるレポ金利を過去最低の年率0.50%に、国債などを買う入れる量的緩和策の資金枠も3750億ポンド（約62兆円）で据え置くことを決定した。政策金利の据え置きは4年11ヵ月連続となった。

英国の昨年10-12月期のGDPは、前期比+0.7%と4四半期連続のプラス成長なり、最新の英失業率も7.1%に改善しており、景気の回復基調が続いている。その中で、BOEは失業率が7%を下回るまで現行の金融緩和政策を維持する方針を示している。

カーニー総裁らMPCメンバーは、利上げに近いことを示唆せずに英経済の力強さをいかに中銀の予測に反映させることができるか議論している。新たな四半期経済見通しを来週公表する英中銀は、利上げを検討する目安としている7%近くに失業率が低下しており、どのようなガイダンスを示すか注目される。

(2) ECBは、ユーロ圏18ヵ国の金融政策を決める理事会を開き、主要政策金利を過去最低の0.25%で据え置くことを決定した。また、中銀預金金利を0.00%、限界貸出金利を0.75%でそれぞれ据え置いた。ユーロ圏の消費者物価指数が1月に前年同月比0.7%の小幅上昇にとどまり、デフレ懸念が高まったため、追加利下げに踏み切るかどうか注目されていた。ただ、ドイツなどでは不動産価格上昇への警戒感も広がっていることや、持ち直してきている景気の動向を見極めるため今回は見送った。

(3) 10-12月期の米非農業部門の労働生産性の速報値は、年率換算で前期比3.2%となった。伸び率で生産が労働時間を上回り、全体を押し上げた。前年同期比は+1.7%にとどまった。

①賃金の指標である単位労働コストは、前期比-1.6%となり、市場予想を下回るマイナスとなった。前年同期比は-1.3%となった。

②労働生産性の内訳は、生産が+4.9%、労働時間は+1.7%、時間当たりの労働報酬は名目ベースで前期比+1.5%、前年同期比で+0.4%となった。

③製造業の生産性は、前期比+2.0%、生産が+6.6%、労働時間は+4.4%。前年同期比の生産性は+2.1%、生産が3.3%、労働時間が+1.2%となった。

④2013年の年間の労働生産性は、0.6%、生産が2.3%、労働時間は1.3%。年間の単位労働コストは+1.0%、労働報酬は名目が+1.6%、実質が+0.2%だった。

(4) 米失業保険申請件数は、前週比-2.0万件の33.1万件となった。申請件数の4週移動平均は、前週比+250人の33.4万件となった。また、集計が1週遅れる失業保険受給者数は、前週比+1.5万人の296.4万人となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比+2万5750人の298万5500人。受給者比率は、前週から横ばいの2.3%だった。

(5) 米 2013 年の貿易収支は、モノと サービスの取引を合計した国際収支ベースで前年比-11.8%の 4715 億 3200 万ドルと、金額ベースで 2009 年以来 4 年ぶりの低水準にとどまった。減少率も 2009 年以来の大きかった。輸出総額が金額ベースで過去最高を更新した一方で、輸入総額が原油の輸入減などから小幅ながら減り、赤字額が前年から縮小した。

①2013 年の輸入総額は、-0.1%の 2 兆 7438 億 5100 万ドル。魚介類や通信機器、携帯電話が増え、原油や油田掘削装置、テレビが減った。一方、2013 年の輸出総額は、+2.8%の 2 兆 2723 億 2000 万ドル。石油精製品や民間航空機、小麦が伸びたが、大豆やトウモロコシ、トラックがマイナスだった。

②モノの貿易赤字は、-5.6%の 6886 億 6400 万ドル。原油の平均輸入価格は 1 バレル当たり 97.10 ドルとなった。

③国別では、対日赤字が-4.0%の 733 億 8900 万ドル。対中赤字は+1.1%の 3184 億 1700 万ドルと過去最高水準を更新した。対 EU 赤字は+8.0%の 1250 億 8400 万ドルで過去最高となった。

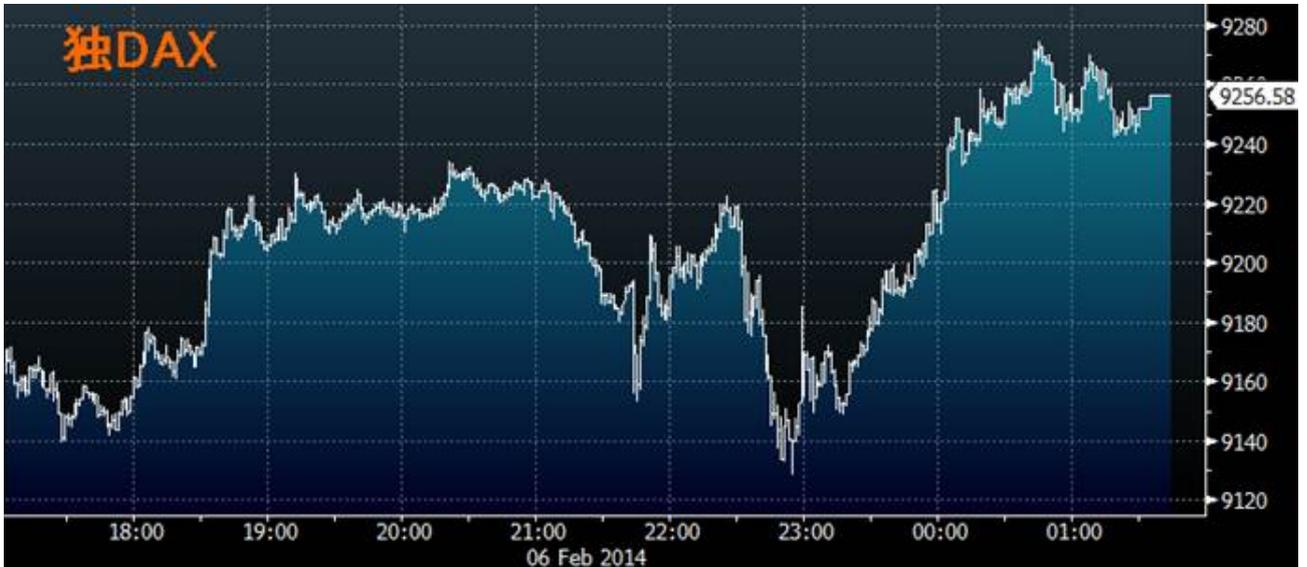
④2013 年 12 月の貿易赤字は、輸出が減り、輸入がやや増えたことから、前月比 +12.0%の 387 億 100 万ドルとなった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6558.28	+100.39
仏 CAC40	4188.10	+70.31
独 DAX	9256.58	+140.26
ストック欧州 600 指数	322.77	+4.73
ユーロファースト 300 指数	1290.41	+18.57
スペイン IBEX35 指数	9964.60	+189.60
イタリア FTSE MIB 指数	19504.24	+434.62
南ア アフリカ全株指数	44985.34	+508.16

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ECB は利下げを見送ったが、ドラギ総裁が必要ならば景気てこ入れを図るとの姿勢を強調したことを好感して主要株価は大幅上昇となった。また、米国の雇用関連指標が改善したことも好感された。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 15595.00 (+154.77)、S&P500 1769.02 (+17.38) ナスダック 4055.18 (+43.63)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、米失業保険申請件数が市場の予想以上に減ったことを受けて、雇用回復への期待から投資家のリスク志向が強まり、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。

午前の利回りは、30年債が3.637%（前日3.65%）、10年債が2.70%（2.67%）、7年債が2.16%（2.13%）、5年債が1.52%（1.49%）、3年債が0.67%（0.64%）、2年債が0.33%（0.31%）。

4 : 45

NY金は、中心限月が前日比0.30ドル高の1オンス=1257.20ドルで取引を終了した。

5 : 30

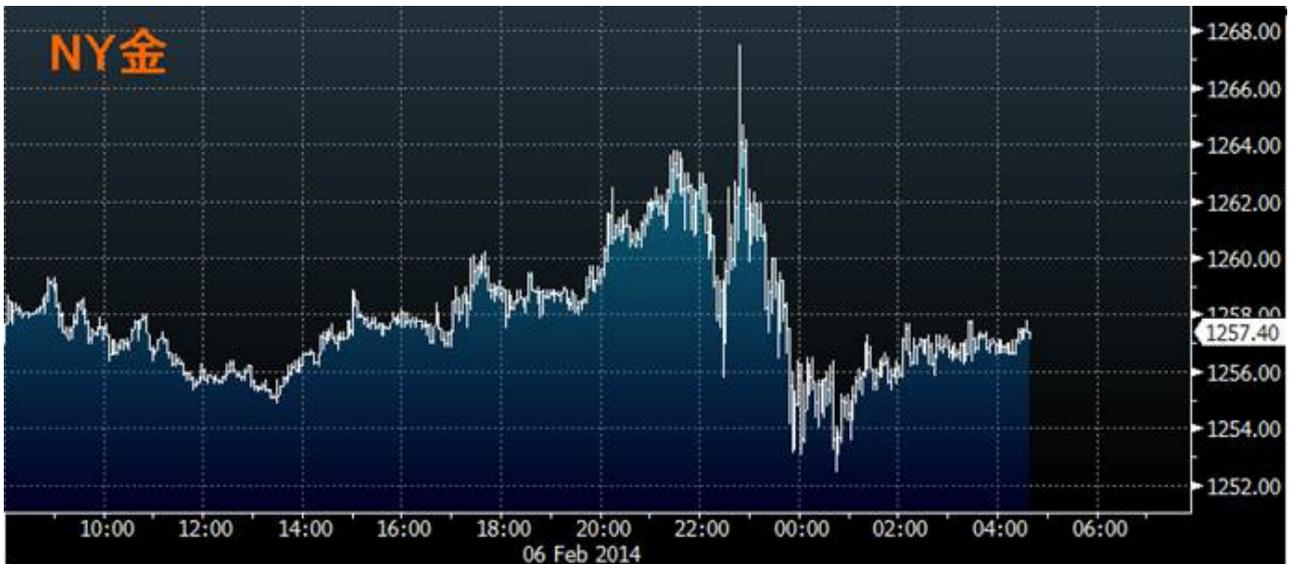
NY原油は、中心限月が前日比0.46ドル高の1バレル=97.84ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1257.20	+0.30
NY 原油	97.84	+0.46

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

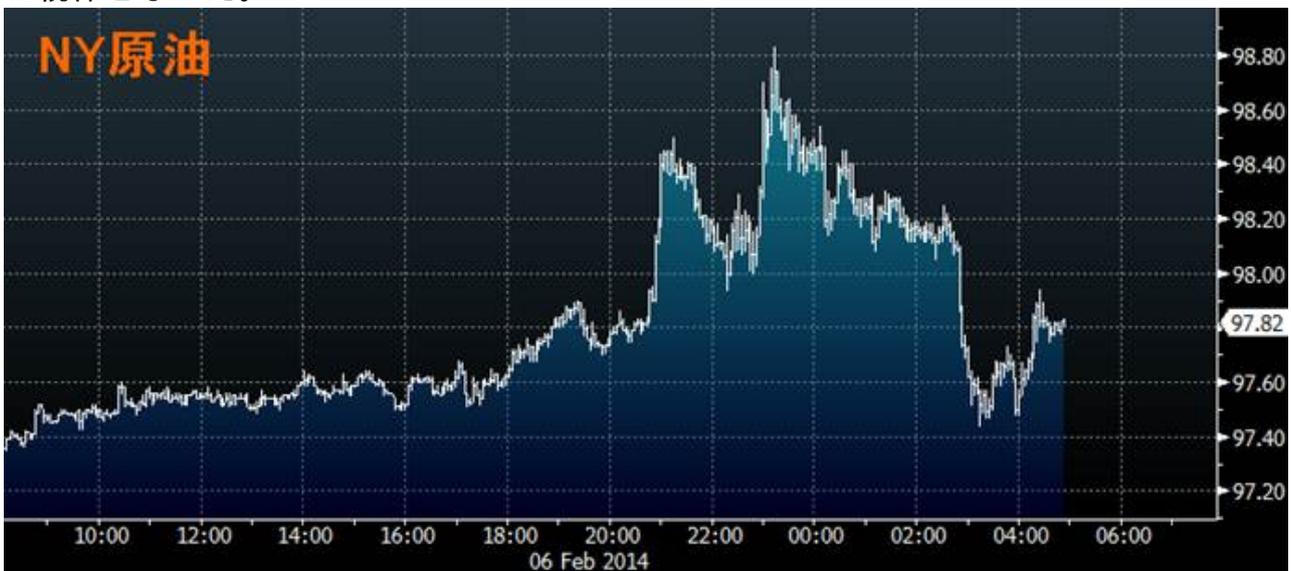
NY金は、ドルがユーロなどに対して下落したのにつれて、ドル建てに割安感が出て、買いが先行した。ただ、米雇用統計の内容を見極めたいとの様子見ムードも強く、相場の上げ幅は限定的だった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米失業保険申請件数が市場の予想より少なく、米景気の先行き懸念が後退したことから買いが先行した。また、ガソリン相場の上昇につれて買いも入り、3営業日続伸となった。



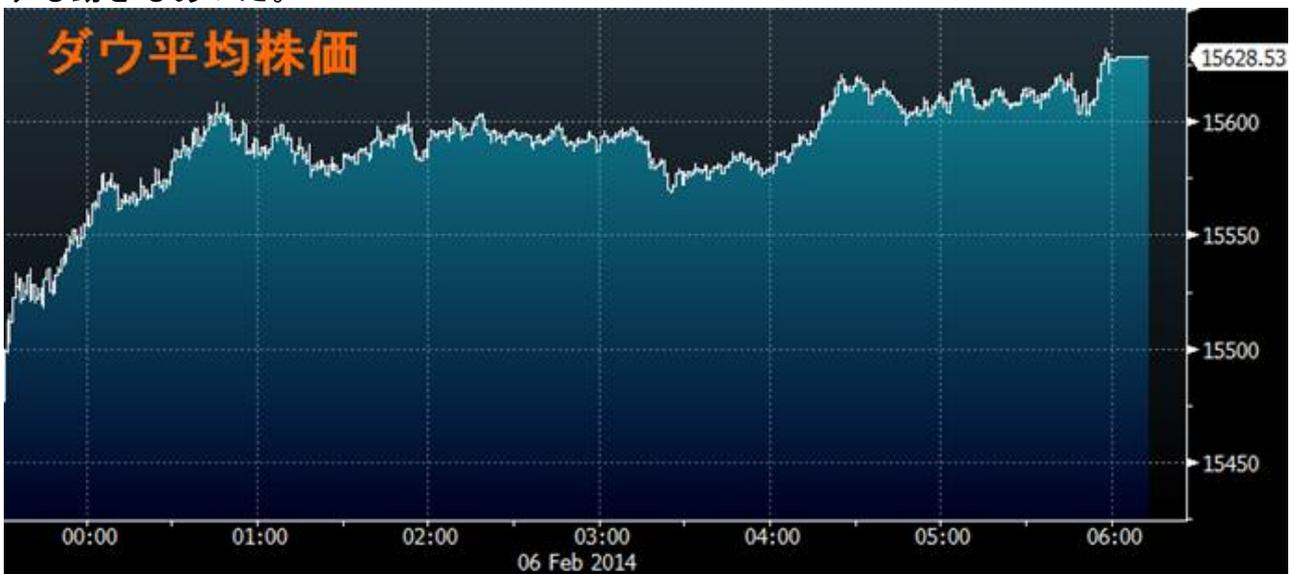
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15628.53	+188.30	15632.09	15443.00
S&P500 種	1773.43	+21.79	1774.06	1752.99
ナスダック	4057.12	+45.57	4064.06	4022.17

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、主要な欧州株価が堅調な動きとなったことから、投資家がリスク選好の動きを強め、株式を買う動きが優勢となった。また、米失業保険申請件数が市場予想を下回ったため、米労働市場が改善するとの思惑が出てとことも支援材料となり、主要株価は大きく上昇した。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなったものの、午後に入るとやや上値の重い動きとなった。しかし、終盤には一時前日比で180ドル高まで上昇する動きもあった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.13	102.18	101.25
EUR/JPY	138.79	138.82	136.75
GBP/JPY	166.74	166.83	165.07
AUD/JPY	91.48	91.64	90.63
NZD/JPY	84.28	84.48	83.20
EUR/USD	1.3591	1.3619	1.3483
AUD/USD	0.8958	0.8979	0.8948

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、ECB 総裁が景気テコ入れの可能性を示したことや、米雇用関連の経済指標が改善したことを背景に、欧米の株価が大きく上昇したことから、投資家のリスク志向が強まり、円が大半の主要通貨に対して下落する動きとなった。特に、ユーロは対円で大きく上げ幅を拡大する動きとなった。ただ、午後に入ると、週末の米雇用統計を控えて様子見ムードも強まり、全体的に小動きの展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。